

令和2年度
中学2年 後期中間テスト
社会（地理・歴史）

12月1日（火） 第2校時間 実施

注意事項

- ・問題は〔1〕～〔5〕まで5ページある。
- ・解答は、問題用紙とは別の解答用紙に記入すること。
- ・はっきりとわかりやすい字で書くこと。
- ・解答欄外へはみ出してもよいが、できる限り枠内に収めること。
- ・誤字、脱字は減点対象となるので、注意すること。
- ・必要以上にひらがな表記にしないこと。

2年	組	番	名前
----	---	---	----

[1] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

現在の世界は、金属の原料となる鉄鉱石や、電力エネルギーの資源として利用される原油・石炭・天然ガスなどの鉱産資源が中心的な役割を果たしている。また、高度な工業製品には、埋蔵量が非常に少なく採掘できる地域が限られている（ 1 ）と呼ばれる金属が使用されている。

日本は、資源の埋蔵量が少なく、外国の方が価格も安く品質も良いため、多くを輸入に頼っている。そのため、日本の電力発電は特定の発電方法に集中させるのではなく、複数の発電方法を組み合わせて行われている。

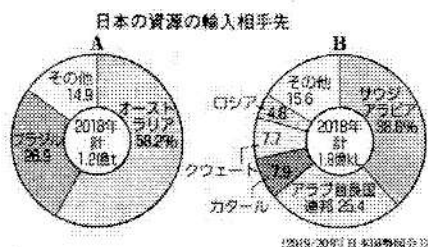
しかし、世界では環境への意識が高まっており、（ 2 ）が地球規模の大きな課題となっている。この問題を解決するためには再生可能エネルギーの開発を進め、（ 3 ）を実現していくことが求められている。

(2) 近年、これまでの鉱産資源に代わる新しい資源が注目されている。表の説明に合う資源の名称を、下の四角から選んで書きなさい。

資源の説明	資源名
北アメリカなどで開発が進む地下の岩盤に閉じ込められた天然ガス	①
さとうきびなど植物を原料にして作られる燃料	②
海底や永久凍土の下にあるメタンガスを含む氷状の物質。	③

(選択肢) メタンハイドレート シェールガス プラチナ
バイオエタノール シェールオイル リチウムイオン

(3) 下線部とあるが、以下の資料は、日本の資源輸入相手先についてのグラフである。A、Bの示す資源は何か書きなさい。



(4) 右の資料は、筑西市役所（スピカ）に設置されている「小型家電回収ボックス」である。ここでは、不要になったゲーム機や携帯電話などを回収しているが、それは回収したものの中から、何を集めるためなのか、説明しなさい。



[2] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

日本の農業は、耕地面積の半分以上を水田が占めており、稲作が盛んであり、(1)は、ほぼ 100%を維持している。特に、北陸や東北地表では、米のブランド化によって品質を高めており、すぐれた米の生産が行われている。一方で、果物や野菜、肉類は、価格の安い外国産に押されており、日本の(1)は全体でみると、大変低いものになっている。

工業では、第2次世界大戦以降、臨海部に工業地域が形成されてきた。带状に連なるそれらの工業地域は(2)と呼ばれている。資源に乏しい日本は、外国から資源を輸入し、それらを工業製品にして輸出する加工貿易によって発展を遂げてきたが、貿易の中で外国との間に、経済・社会問題が発生したこともあった。

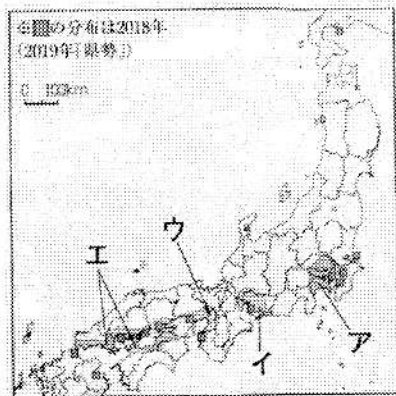
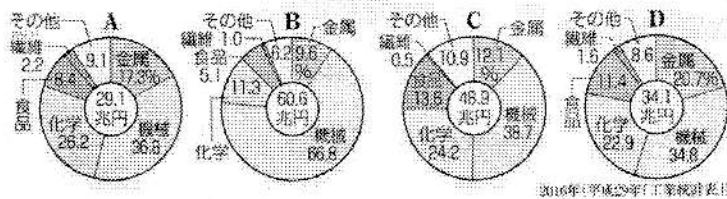
商業やサービス業の面では、情報通信に関する分野が飛躍的な発展を遂げている。今や、ニュースの配信や商品の売買はインターネットに大きく支えられており、情報通信に関わる産業は(3)関連産業と呼ばれている。

Information. Communication. Technology.

(2) 産業は一般的に、第1次産業、第2次産業、第3次産業の3つに分類される。四角の選択肢の仕事を、それらの3つに分類し、回答欄に記号で書きなさい。(完答)

(選択肢)	ア. 畜産農家	イ. 自転車屋	ウ. 製鉄業
	エ. 医者・看護師	オ. 梨農家	カ. 自動車製造業
	キ. 八百屋	ク. 笠間焼の職人	ケ. 漁師

(3) 次のA～Dは地図のア～エのいずれかの工業地帯・地域の工業出荷額とその内訳を示している。A～Dにあてはまる工業地帯・地域を地図のア～エから一つずつ選び、記号を書きなさい。また、その工業地帯・地域の名称を書きなさい。



[3] 以下の設問に答えよ。

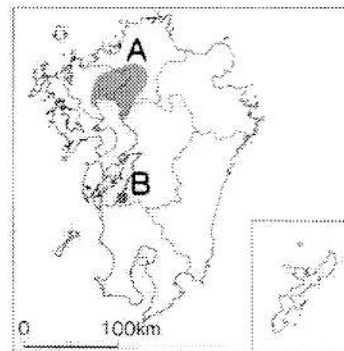
(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

九州地方の自然環境は、火山が多いことが特色としてあげられる。中央部には阿蘇山と、その噴火によって形成された巨大なくぼ地の(1)がある。また、西部には雲仙岳、南部には霧島山や桜島などの、現在も活動している火山がある。

気候は温暖であり、それを生かした農業が九州各地で行われている。九州南部では、他の地域より出荷時期を早める(2)が行われている。しかし、同じ南部の鹿児島県周辺には、火山の噴出物の堆積によって出来た水の保ちにくい(3)が広がっており、サツマイモなどの作物が盛んに栽培されている。

南西諸島は亜熱帯の気候帯に属している。そのため、農業ではサトウキビやパイナップルの栽培が盛んである。この地域は暖かい海やサンゴ礁などの観光資源を生かした観光業が重要な産業になっている。

(2) 地図中のAの地域には平野が広がっており、冬も温暖な気候を利用して、稲作が終わった後も、その水田で他の作物を育てる農業が行われている。この平野の名称と、そのような農作物の栽培方法を書きなさい。



(3) 地図中のBの都市では、1950～60年代に、工場排水に含まれる水銀に汚染された魚を食べた人に健康被害が生じる公害病が発生した。その公害病とは何か、名称を書きなさい。

(4) 次の資料は、ある再生可能エネルギーを利用した発電方法による県別の発電量をグラフにしたものである。この発電方法の名称を書きなさい。

鹿児島県				
合計出力 5218kW	水力 303.8%	太陽 19.9	風力 16.9	地熱 12.5
その他 11.0(8.8)				

※日本の再生可能エネルギーの県別割合(2014年)
(JOGMEC資料)

また、再生可能エネルギーは他にどのようなものがあるか、一つ書きなさい。

(5) つぎの写真は沖縄県の伝統的な家の様子である。この家のつくりの特徴と、そのようなつくりにした理由を、この地域の気候的な特徴に触れながら文章で書きなさい。



[4] 以下の設問に答えよ。

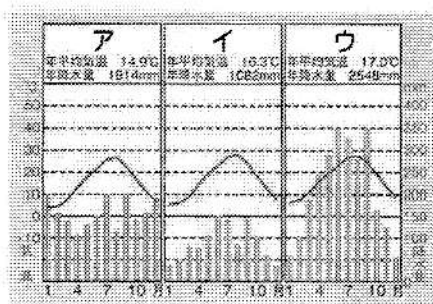
(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

中国・四国地方は、大きく山陰・瀬戸内・南四国の地域に分けられる。その気候は、海流の影響で(ア)全般的に温暖ではあるが、降水量については、雨が多く降る地域と、そうでない地域に分かれている。これは、この地方の地形と(1)と呼ばれる風の影響によるものである。

瀬戸内の地域の農業は、日当たりのよい丘陵地と雨が少ない気候を生かした果樹栽培が盛んである。特に、岡山県のマスカット栽培や、愛媛県のみかんやいよかんなどの(2)類の栽培が有名である。また、南四国の高知平野では、ナスなどの野菜の栽培なども盛んにおこなわれている。

瀬戸内の臨海部では、石油化学工業や製鉄業、自動車工業などの重化学工業が盛んである。岡山県の倉敷市水島地区などには、大規模な(3)が広がっている。元々この地域は山地が多く、瀬戸内海があることから交通の便が悪く、大規模な工場建設には向かなかったが、(イ)交通網が整備されたことにより、現在のように発展することができた。

(2) 下線部(ア)について、次の資料は、中国・四国地方の鳥取、高知、高松の平均気温と降水量を示した雨温図である。それぞれどの都市の雨温図なのか、記号を書きなさい。



中国・四国地方のおもな都市の雨温図(理科年表 平成29年)



(3) 下線部(イ)とあるが、この地域の交通の利便性を向上させた要因となった瀬戸大橋、明石海峡大橋などの、本州と四国を結ぶ橋をまとめて何と呼ぶか書きなさい。

(4) 中国・四国地方の観光資源として、原爆ドーム(広島県)や厳島神社(広島県)、石見銀山(島根県)などが有名である。これらは何に登録されているか、書きなさい。

(5) 中国・四国地方の山間部や離島では、早くから人口に関するある現象が社会問題になっている。その現象の名前と原因について書きなさい。

[5] 以下の設問に答えよ。

(1) 以下の文章を読み、(1)～(3)に適語を入れなさい。

江戸時代に鎖国政策を続けていた日本は、1853年にアメリカ人のマシュー・ペリーの来日を受けて、大きな変化をしていく。その第一歩として、翌年には(1)を締結し、日本は開国することとなった。

その後も、日本は欧米列強の強大な軍事力を前に、外国との関係づくりや国内の体制維持に苦勞を強いられることになった。そのような中で大老の(2)は、アメリカとの間に日米修好通商条約を締結した。本格的な外国との貿易のきっかけとなった条約ではあったが、その(ア)内容が日本にとって不平等なものだったことと、(イ)朝廷の許可を得なかったことが、国内に大きな混乱を招く原因となってしまった。

世界を視野に入れた新しい国づくりをするにあたり、大きな活躍を見せたのは(ウ)長州藩と薩摩藩であった。倒幕という同じ目的を持つ2つの藩が結びついたことにより、徳川慶喜は、1867年について(3)を行い、江戸幕府は終わりを迎えることとなった。

(2) 下線部(ア)とあるが、次の資料の内容は、その日米修好通商条約における不平等な内容の一部である。この資料から、日本にとって不平等な点を2つ挙げなさい。

『日米修好通商条約の不平等な内容の条文』

第4条 すべて日本に対して輸出入する商品は別に定めるとおり、日本政府へ関税を納めること。……

第6条 日本人に対して法を犯したアメリカ人は、アメリカ領事裁判所において取り調べのうえ、アメリカの法律によって罰すること。〔部分要約〕

(3) 次の出来事を、年代が古い順に並べ替え、記号を書きなさい。

ア. 薩長同盟が結ばれる	イ. 徳川慶喜が大政奉還を行う
ウ. 井伊直弼が暗殺される	エ. 戊辰戦争が起こる

(4) 下線部(イ)とあるが、これにより江戸幕府への批判が強まり、「尊王攘夷運動」が盛んに叫ばれるようになった。これは「尊王」と「攘夷」という2つの考えが結びついて起こった運動である。この運動について、文章で説明しなさい。

(5) 下線部(ウ)とあるが、長州藩と薩摩藩を結び付けた同盟を何というか、書きなさい。また、この同盟を結ぶための仲介に立った写真の人物は誰か、名前を書きなさい。



2年 組 番 名 前

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

				知	技	思
[4]	(1)	モンスーン(季節風)	2			
	(1)(2)	かんきつ	2			
	(3)	石油化学コンビナート	2			
	鳥取	ア		2		
	(2) 高松	イ		2		
	高知	ウ		2		
	(3)	本州四国連絡橋			2	
	(4)	世界遺産			2	
	現象	過疎化, 高齢化, 少子化				
	(4)	理由 進学や就職のために, 若い世代が都市部に移り住むようになってしまったから				4
[5]	(1)	日米和親条約	2			
	(1)(2)	井伊直弼	2			
	(3)	大政奉還	2			
	(2)	関税自主権が無いこと		2		
		領事裁判権を認めたこと		2		
	(3)	ウ → ア → イ → エ		2		
	(4)	天皇を中心にするという尊王の考えと, 外国を排除するという攘夷の考え方が結びついた運動のこと。				4
	同盟	薩長同盟			2	
	(5) 人物	坂本龍馬			2	

12 12 16

知識・理解	/30	資料・実証	/30	思考・表現	/40	総合	/100
-------	-----	-------	-----	-------	-----	----	------